

平成29年度「新城市市政モニター」アンケート項目反映状況

調査月	平成29年度担当課	テ ー マ	反映状況	反映 件数	反映の内容(平成29年度のアンケートを反映させて平成30年度に実施した 具体的な内容)
8月	秘書人事課	職員の対応について	継続調査して いく	1	アンケートにより、窓口でのあいさつや言葉づかいの結果が前年度と比較してやや下がっているため、窓口サービスを行う部署を対象とした接遇研修を行うほか、新規採用職員を対象とした接遇研修(3月)も計画していく。
	まちづくり推進課	若者議会の活動の見える化について	反映した	2	・アンケートの結果から、「広報紙(毎月2ページ)に力を入れたほうが良い」が50.5%であったため、引き続き広報紙での連載を行った。 ・自由意見に「様々な方法により、より多くの世代へ知っていただく」との意見が多数あったことから、SNSやティーズでの放送、広報紙連載に加え、LINE@を新たに活用しPRを行った。
	商工政策課	消費生活に関するトラブルについて	参考資料と した	2	・消費生活に関するトラブルの現状を把握し、その対応方法を知るとともに、相談窓口の周知を行った。 ・今後の広報紙への掲載内容の判断材料とした。
	都市計画課	購買行動調査について	参考資料と した	1	買い物先や移動手段、外食など購買行動に関するアンケートを3回(8月、10月、12月)に分け実施し、定住促進や中心市街地の活性化に関する施策の検討においてアンケート結果を参考にした。
10月	商工政策課	しんしろ軽トラ市～のんほい ロット～について	反映した	1	・アンケートの結果をワーキング部会に情報提供した。
	観光課	観光振興について	継続調査して いく		観光振興における市民参画のあり方について、前年度と同じような結果となった。その中でも、具体的な観光振興への市民参画の一つとして、市のイベントへの企画・準備への参加があがった。 そのため、昨年度に引き続き観光イベントでの企画・準備段階から市民の方と一緒にいけるよう、すすめている。
	秘書人事課	お出かけ講座について	反映した	2	アンケートの結果、お出かけ講座自体の認知度が低かったことから、認知度向上と利用率向上のため、市政番組のお知らせコーナーと広報「ほのか」の裏表紙でPRを行った。 お出かけ講座を知っている H28:20.6%、H29:34.7%(14.1%UP)、知らない:65.3% お出かけ講座を利用したことがある人数 H28:3人、H29:5人
	都市計画課	購買行動調査について	参考資料と した	1	買い物先や移動手段、外食など購買行動に関するアンケートを3回(8月、10月、12月)に分け実施し、定住促進や中心市街地の活性化に関する施策の検討においてアンケート結果を参考にした。

平成29年度「新城市市政モニター」アンケート項目反映状況

調査月	平成28年度担当課 (平成29年度担当課)	テ　　マ	反映状況	反映 件数	反映の内容(平成28年度のアンケートを反映させて平成29年度に実施した 具体的な内容)
12月	行政課	高速バス 新城名古屋藤が丘線 「山の湊号」について	反映した	2	・通学利用の情報を知りたいという要望に対して、実際の通学利用者に聞き取り調査をした結果をチラシにまとめ、高校生に配布した。 ・モデルプランを作成してはどうかという意見に対して、プランと割引料金を組み合わせた企画切符の発売を開始した。
	まちづくり推進課	男女共同参画について	参考資料とした		女性の活躍の状況や課題について、男女共同参画審議会に資料として配布し、答申検討をする際に活用した。
	都市計画課	購買行動調査について	参考資料とした	1	買い物先や移動手段、外食など購買行動に関するアンケートを3回(8月、10月、12月)に分け実施し、定住促進や中心市街地の活性化に関する施策の検討においてアンケート結果を参考にした。
	土木課	新東名高速道路について	参考資料とした		新東名及びスマートインターに対する現状把握
2月	財政課	これからの公共施設のあり方について	反映した	2	広報ほのかによる情報提供69.1%を反映し、広報ほのか8月号から「公共施設Q&A」のコーナーを設け様々な公共施設に関する情報を提供している。 利用していない市の所有する土地を貸付・売却等することで有効利用する事業の一環として「公有財産売却支援業務」を課の主要事業に位置付けて実施することで、売却の促進を図っている。
	秘書人事課	広報活動(広報紙、市政番組、ホームページ)について	反映した	3	・広報紙の記事の希望が一番高かった「催し・行事・イベント関係」21.4%を反映し、ニューキャッスルアライアンス関連記事を、裏表紙に5月号から開催月である10月号まで掲載した。12月号では、20年ぶりの本市での開催を、市民編集員の特集とともに6ページにわたり成果報告を掲載した。 ・市政番組で取り上げてほしい内容が、①市内の伝統文化、歴史に関するもの10.3%、②市内の観光スポット10.0%、③小中学校の活動10.0%であったため、今後天然記念物や文化財、歴史、観光関連の放送を予定している。 ・平成31年度にホームページを全面リニューアルする。地域情報化アドバイザー制度の活用と、新城市広報プロジェクトチームを発足し、見やすく、検索しやすいホームページを目指す。更に、ホームページだけでなく、今後の広報の課題や活動方針の検討も行う。

	秘書人事課	防災行政無線(葬儀放送)について	反映した	<p>3 現在、葬儀放送を地区別で行っているが、全地区一斉や、時間帯変更、届出方法の変更希望があったため、アンケートを参考に検討し、現在の放送形態を継続することとした。</p> <p>放送形態 適当:78.7%、不适当:16.0%、無回答:5.3%</p> <p>時間別の形態について 適当:84.0%、不适当:11.7%、無回答:4.3%</p> <p>届出方法 適当:77.7%、不适当:12.8%、無回答:9.6%</p>
	まちづくり推進課	地域自治について(市民が主役のまちづくり成熟度)【追加】	継続調査していく	<p>市民まちづくり集会、若者議会、女性議会、中学生議会を開催し、広報ほのか、HPで開催告知、状況報告等を行い、その認知度を確認した。今後も継続して事業を進めるため、毎年認知度について調査を進めていく。</p>

反映した

継続調査していく

参考資料とした

反映していない